第2号議案　　令和５年度事業報告について

学校法人　鶴鳴学園

はじめに

令和５年度、長崎女子短期大学において、６年度の入学予定者数は 109 名、前年と比較し、栄養士コースで 7 名、ビジネス医療秘書コースで 7 名、幼児教育学科で 13 名減少したため、収容定員充足率は幼児教育学科で 69%、生活創造学科で 64%と厳しい結果となった。今後の更なる定員確保に向けた学生募集対策が急務となった。

長崎女子高等学校においては、令和５年度オープンスクールの参加者は増加したものの、入学まで繋げるには至らず、６年度の入学予定者数は 107 名、前年と比較し 2 名減少と 2 年連続での定員割れとなった。今後も入学者減少となった検証をもとに募集活動の見直し等を行い、効果的な募集活動を再構築する。

長崎女子短期大学附属幼稚園においては、短期大学幼児教育学科との連携を深め附属幼稚園としての特色を更に鮮明にして、園児・保護者の満足度向上、保育の質の向上に取り組み、他園との違いを明確にすることに努めてきた。

Ⅰ. 事業の概要

1. 当該年度の主な事業

⑴施設設備の整備 （主なもの）

厳しい財政状況下であるが、令和５年度において、短大では敷地内伐採工事、全学用ファイルサーバー更新工事等、高校ではエアコン更新工事、LED 工事等、幼稚園ではトイレ改修工事等、主に以下のような施設、設備の整備を図った。

＜短期大学＞　　(単位：千円)

部　門	内　容	業　者	金　額	備　考
短　大	駐車場進入路・場内周辺雑木伐採工事	㈲本田緑泉	1，650	
〃	全学用ファイルサーバー更新工事	㈱イシマル	1，609	
〃	会議室空調機更新工事	㈱空調	715	撤去 110 千円別
〃	1 号館 133 教室講義用デスク、チェアー	㈱永池	737	
〃	WEB 出願システム導入	㈱エフレジ	800	

＜学生寮＞　　(単位：千円)

部　門	内　容	業　者	金　額	備　考
学生寮	Wi-Fi 環境整備（１・２階廊下等）	㈱イシマル	1，074	

	寮内ワックスがけ等(1～5階)	㈱ふよう長崎	622	
	洗濯室内洗濯機更新	パナプラザ　ヤマダ	336	

＜高等学校＞　(単位：千円)

部　門	内　容	業　者	金　額	備　考
高　校	第 2 体育館エアコン機器更新工事	フジオカ	2，095	
〃	LED 工事（第 1 体育館、校舎）	ベストエナビジネス	1，471	
〃	第 2 体育館シャワー室ガス機器更新工事	西部ガスリビング	1，278	

＜幼稚園＞　(単位：千円)

部　門	内　容	業　者	金　額	備　考
幼稚園	トイレ改修（保育室トイレ・大人用トイレの洋式化）	（株）旭管工社	3，016	
〃	給食室　食器洗浄機設置	(株)フジマック	880	
〃	園庭パイレーツシップネットロープ等補修	(有)キッズメイト	444	

⑵高大連携事業

①高一　「短大見学会」
　日時：令和 5 年 7 月 12 日(水) 14:50～15:50
　場所:長崎女子高校
　参加者 87 名
　内容:全体会(ビデオ視聴)、長崎女子高出身学生によるプレゼンテーション（各学科の取り組み）

②高一　「短大体験学習」
　日時：令和 5 年 9 月 12 日(火) 10:00～14:25
　場所:短大
　参加者 88 名
　内容：各学科コースの体験授業（４５分）を３つ選択し受講する。

③高二　「系列別体験学習会」
　日時：令和 5 年 9 月 21 日(木)　13:30～16:00
　場所:短大
　参加者　77 名(くらし系列・しごと系列・こども系列)
　　＜体験学習内容＞

栄養士コース：「ポンデケージョを作ってみよう」
ビジネス・医療秘書コース：「ゲームで磨くノンバーバル・
コミュニケーション力」
幼児教育学科：「折り紙でハッピー・ハロウィン」

④高二・高三　「短大総合説明会」
日時：令和５年６月 22 日(木)　　14:50～15:50
場所:長崎女子高校
参加者　２年生 118 名 3年生 91 名
内容：学生によるプレゼンテーション（各学科の取り組み）

⑤高三　「ピアノ応援プラン」
日時：令和５年８月17日(木)･18 日(金)
場所：短大音楽室、ピアノ演習室
参加者　こども系列選択者 18 名

⑥高三　「入試説明会」
日時：令和５年９月 29 日(金)　　14:50～15:40
場所：長崎女子高校
参加者　長崎女子短期大学受験予定者　22 名(＋保護者等)

(3)幼大連携事業
①長崎女子短期大学幼児教育学科１年生園内見学
日時：A クラス令和５年５月 16 日(火)、6 月 20 日(火)
B クラス令和５年５月 23 日(火)、6 月 27 日(火)
②長崎女子短期大学幼児教育学科２年生教育実習　参加者５名
日時：令和５年５月 29 日(月)　～　6 月 9 日(金)
令和５年 10 月 2 日(月)　～　10 月 16 日(月)

(4)短大ゼミナール発表会の開催
令和５年度のゼミナール発表会を下記のとおり実施した。
○生活創造学科

ビジネス医療秘書コース	令和５年７月 24 日(月)	13:00～16:10
	令和６年１月 23 日(火)	13:00～16:10
栄養士コース	令和６年１月 30 日(火)	13:00～15:00
○幼児教育学科	令和６年１月 29 日(月)	9:40～15:20

(5)地域との連携及び開放
令和５年度の公開講座は幼児教育学科とビジネス医療秘書コースが 2 講座ずつ、栄養士コースが 3 講座開催し、下表のとおり合計 7 講座を開講した。参加

率に関しては、昨年度は開講された 5 講座の中で定員に対する参加率が 100%以上の講座は 2 講座であったが、今年度は長崎新聞 NR7 月号での広告掲載などの積極的な広報活動により、開講された 7 講座中 3 講座において参加率 100%以上となる等、昨年度より参加率は改善した。

○短大公開講座（令和５年度）

	日 時	講 座 名	担当者(敬称略)	募集数	参加数	参加率
1	8/6(日)	わくわくサマークラフト「親子で藍染め体験」	山中	12 組 24 名	33 名	142%
2	8/22 (火)	産学連携講座「自分のお箸を作ってみよう」	濵口	20 名	20 名	100%
3	9/9(土)	気軽にできる SDGs 実践講座「新聞で作るエコバッグ」	濵口	15 名	4 名	27%
4	10/7(土)	長崎食育学講座① キーマカレーとナンを作ってみよう	太田美代 一瀬、石橋、有得	16 名	8 名	50%
5	10/28(土)	長崎食育学講座② 2 種のベーグルとベーグルサンド	桑原 一瀬、石橋、有得	16 名	14 名	88%
6	11/20(月)	親子で遊びましょう	本村	15 組 30 名	15 名	50%
7	12/16(土)	長崎食育学講座③ 朝ごはんを作ってみよう	古賀 一瀬、石橋、有得	12 組 24 名	32 名	133%

(6)その他短期大学における主な取り組み

①FD 研修会

実施日:令和 5 年 8 月 29 日(火) 10:00～12:00

テーマ:「学修成果の評価項目と評価基準に関する成果と課題の改善策について」

実施日:令和 6 年 3 月 19 日(火) 10:00～12:00

テーマ:「学修成果・教育成果の把握・可視化から改善、そして改善の成果検証へ」

②SD 研修会

実施日:令和 5 年 8 月 29 日(火) 13:00～15:00

テーマ:「第 4 期認証評価に向けた学修成果等の改善計画について」

実施日:令和 6 年 3 月 19 日(火) 13:00～15:15

テーマ:「部署別年次報告会～根拠に基づく成果と課題と改善策～」

③中高生限定料理教室「はじめて料理レッスン」

実施日

令和 5 年 7 月 1 日(土) 10:30～16:30 「ショコラマカロン」

令和 5 年 9 月 30 日(土) 10:30～13:30 「コリアンランチ」

令和 5 年 10 月 21 日(土) 10:30～12:30 「フルーツ大福」

④地元企業との産学連携商品開発プロジェクト

企画者　:生活創造学科ビジネス医療秘書コース2年生
協力企業 :(株)クリーンマット、(株)石丸文行堂、森永材木店
商品名　①アロマオイル「聖夜のしずく KAKUMEI spring」、アロマストーン
②マスコットキャラクター付きマスキングテープ

⑤外部評価委員を招いての自己点検評価委員会の開催
日時：令和 6 年 3 月 29 日(金)　15:00～17:00
〇外部委員 4 名
・天本 俊太氏　（社会福祉法人みのり会 理事長）
・池田 大輔氏　（長崎新聞社経営企画室 部長）
・岩橋 英夫氏　（長崎県立長崎明誠高等学校 校長）
・中山 実津雄氏（長崎県中小企業家同友会 副代表理事）
〇説明事項
・令和５年度学長運営方針について
・令和５年度の取り組み及び実績等について
入学者数、在籍者数、退学者数、退学率等について
学生募集について
就職支援について
学科・コースの特色ある取り組み及び実績について

(7)高等学校における主な取り組み

① 美容コースの夏季スクーリングについて
期　間：令和 5 年 7 月 24 日(月)～8 月 19 日（土）
対象者：しごと系列美容コース
1 年生 22 名、2 年生 16 名、3 年生 24 名　計 62 名

② 介護職員初任者研修
期　間：令和 5 年 4 月 25 日(火)～12 月 19 日(火)　8 か月間
対象者：ふくし系列 3 年生 5 名

③ 性教育講話
1年生:令和 5 年 9 月 22 日(金)　2年生:令和 5 年 9 月 8 日(金)
3年生:令和 5 年 7 月 14 日(金)

④ フューチャーナビゲーション
日時：令和 5 年 6 月 23 日(金)
参加者:3 年生 48 名　参加企業:県内企業 24 社

⑤ インターナショナルコースミーティング
期間：令和 5 年 7 月 24 日(月)～26 日(水) 3 日間
受講者:インターナショナルコース選択者 19 名
実施内容:講話、外国人との交流

⑥ 第 3 回系列成果発表会
日時：令和 6 年 2 月 9 日（金）
場所：各系列の発表を動画にまとめ各教室で視聴した。
参加者：全学年
実施内容:1･2 年生に対し、3 年生が系列で学習した成果を発表し、その成果を確認するとともに、1･2 年生は今後の目標を確認する機会とした。

⑦ 美容コースの春季スクーリング
期　間：令和 6 年 3 月 22 日(金)～3 月 31 日(日)　10 日間
場　所：県美容専門学校
参加者：1 年生 22 名、2 年生 16 名　　計 38 名

(8)附属幼稚園における主な取り組み

① 子育て支援事業「わくわくクラブ」の実施
② プレ入園 2 歳児教室「のびのびクラス」の実施
③ 基本的生活習慣の定着
④ 健康指導(手洗い、うがい等)と食育指導(野菜栽培･食事マナー等)
⑤ 保護者アンケートの実施
⑥ 学園内の連携強化と職場内の活性化
⑦ 防犯訓練・避難訓練の年 3 回ずつの実施

2. 入学志願者数、受験者数、合格者数、入学者数（令和5年度入試）

＜短期大学：入学定員 170 名＞

	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	内長崎女
学校推薦型選抜	95	95	95	95	22
総合型選抜１期	5	5	5	5	1
総合型選抜２期	3	3	3	3	1
総合型選抜３期	2	2	2	2	1
大学入学共通テスト	5	5	5	3	0
一般選抜１期	0	0	0	0	0
一般選抜２期	0	0	0	0	0
社会人選抜	1	1	1	1	0
合　計	111(138)	111(138)	111(138)	109(136)	25(37)

合計欄(　)は前年度分

＜高等学校：入学定員 125 名＞

入試	試験	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
特別入試	推薦試験	75	75	75	75
	専願試験	27	27	23	23
	計	102	102	98	98
	併願試験	83	83	82	5

一次入試	一次試験	31	21	18	4
二次入試	二次試験	0	0	0	0
合　計		216 (205)	206 (189)	198 (186)	107 (109)

合計欄(　)は前年度分

＜幼稚園：収容定数 110 名＞

	年少少 (満 3 歳児)	年少 (3 歳児)	年中 (4 歳児)	年長 (5 歳児)	計
進　級　児	―	3	26	32	61
転入・入園児	―	23	1	0	24
合　計	―	26(29)	27(34)	32(31)	85(94)

合計蘭(　)は前年度分

3. 学生・生徒の就職・進学の状況（令和5年度卒業生）

＜短期大学＞　　令和 6 年 3 月 31 日現在

学科・コース	卒業生数 (A)	就職希望 (B)	就職決定 (C)	進学	未定 その他	就職率 C／B	就職率 C／A
栄養士	24	24	23	0	1	95.8%	95.8%
ビジネス・医療	17	17	17	0	0	100%	100%
幼児教育	86	83	83	0	3	100%	96.5%
合計	127	124	123	0	4	99.2%	96.9%

＜高等学校＞　　令和 6 年 3 月 31 日現在

内　訳	卒業生数	決　定	未　定	決定率	備　考
進　学	71	71	0	100.0%	
就　職	46	46	0	100.0%	
合　計	117	117	0	100.0%	

Ⅱ. 財務の状況（3 カ年の収支状況）

1. 事業活動収支計算書（令和3年度～令和5年度）

○収入の部　　（単位：千円）

科　目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生生徒等納付金	513,880	520,512	476,849
手数料	5,873	5,573	4,970
寄付金	1,045	1,032	31
補助金	269,567	260,108	242,500
付随事業収入	66,354	67,770	62,158
雑収入	8,179	20,587	15,884
退職金財団受入金収入	55,901	2,547	42,169
教育活動収入合計	920,799	878,129	844,561

○支出の部

人件費	491,386	477,982	491,714
退職金	56,591	3,048	63,548
退職給与引当金繰入額	0	0	0
教育研究経費	322,325	308,376	290,246
管理経費	127,582	138,481	135,459
借入金等利息	0	0	0
徴収不能引当金繰入額	0	165	0
教育活動支出の部合計	**997,884**	**928,052**	**980,967**
教育活動収支差額	**△77,085**	**△49,923**	**△136,406**
教育活動外収支差額	12,641	12,599	12,445
特別収支差額	8,110	1,166	7131
基本金組入前収支差額	△56,334	△36,158	△116,830
基本金組入額合計	△10,717	△8,686	△14,082
当年度収支差額	**△67,051**	**△44,844**	**△130,912**
前年度繰越収支差額	△1,174,256	△1,241,308	△1,286,152
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	**△1,241,307**	**△1,286,152**	**△1,417,064**

※令和5年度、収入は、学生生徒等納付金の減少とともに補助金等も減少。一方、支出は前年比増加。教育活動収支差額で、令和4年度△49,923 千円、令和5年度△136,406 千円、基本金組入後の当年度収支差額では、令和4年度△44,844 千円、令和5年度△130,912 千円と支出超過が拡大した。

また、令和5年度の翌年度繰越収支差額は△1,417,064 千円となった。

2. 資金収支計算書(令和3年度～令和5年度)

○収入の部　　(単位:千円)

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生生徒等納付金収入	513,880	520,512	476,849
手数料収入	5,873	5,573	4,970
寄付金収入	1,454	1,479	460
補助金収入	277,309	260,108	244,028
資産売却収入	0	1,110	8,872
受取利息・配当金収入	12,641	12,599	12,445
付随事業収入	66,354	67,770	62,158
雑収入	4,718	12,400	7,851
退職金財団受入金収入	55,901	2,547	42,169
小計 ①	**938,130**	**884,098**	**859,802**
前受金収入	118,872	114,994	96,415
その他の収入	5,274	75,372	25,293

資金収入調整勘定	△178,155	△132,732	△156,504
前年度繰越支払資金	1,567,791	1,575,488	1,684,464
収入の部合計	2,451,912	2,517,220	2,509,470

○支出の部

人件費支出	491,386	477,982	491,714
退職金支出	56,591	3,048	63,548
教育研究経費支出	205,685	193,603	184,502
管理経費支出	109,311	122,324	117,726
施設関係支出	8,761	6,152	9,416
設備関係支出	13,013	20,801	9,639
小計 ②	**884,747**	**823,910**	**876,545**
当年度収支差額 ①－②	**53,383**	**60,188**	**△16,743**
資産運用支出	7,001	8,401	14,053
その他の支出	16,761	29,937	27,435
資金支出調整勘定	△32,085	△29,492	△26,342
翌年度繰越支払資金	**1,575,488**	**1,684,464**	**1,617,779**
支出の部合計	2,451,912	2,517,220	2,509,470

※令和5年度は、当年度収支差額△16,743 千円、翌年度繰越支払資金は前年度より66,685 千円減の 1,617,779 千円となった。

3. 貸借対照表（令和3年度～令和5年度）

○資産の部　（単位:千円）

科目		令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
資産	固定資産	5,286,152	5,179,229	5,073,718
	有形固定資産	3,947,460	3,837,814	3,734,505
	特定資産・その他固定資産	1,338,692	1,341,415	1,339,213
	流動資産	**1,642,401**	**1,698,359**	**1,659,660**
	合計	**6,928,553**	**6,877,588**	**6,733,378**

○負債の部・基本金の部・繰越収支差額の部

科目		令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
負債	固定負債	228,328	216,556	208,523
	流動負債	134,275	146,099	126,752
	計	362,603	362,655	335,275
基本金		7,781,682	7,801,085	7,815,167
繰越収支差額		△1,174,256	△1,286,152	△1,417,064
純資産合計		6,607,426	6,514,933	6,398,103
負債及び純資産合計		6,970,029	6,877,588	6,733,378

※資産総額は、令和5年度は前年度より 144,210 千円減少。

流動資産については、令和4年度は前年度より 55,958 千円増加、令和5年度にお

いては前年度より 38,699 千円減少した。

Ⅲ. 法人の概要

1. 学校法人　鶴鳴学園

所在地:〒850-0823 長崎市弥生町 19 番 1 号
理事長:原田　雄司

2. 設置する学校・学部・学科等及び学生・生徒・園児数(令和 5 年.5.1 付)

(1)長崎女子短期大学　所在地:〒850-0823　長崎市弥生町 19 番1号
学長:玉島　健二

学科・コース	入学定員	収容定員	1 年生	2 年生	在籍合計
生活創造学科	70	140	60	42	102
(栄養士コース)	(40)	(80)	(39)	(25)	(64)
(ビジネス・医療・秘書コース)	(30)	(60)	(21)	(17)	(38)
幼児教育学科	100	200	79	89	168
合　計	170	340	139	131	270

(定員充足率:82.9%)

※令和3年度入学生より、生活創造学科2コースの定員変更。
栄養士コース　入学定員　60名から40名へ
ビジネス医療秘書コース　入学定員　40名から30名へ
両コース合計　入学定員　100名から70名へ
令和5年度の収容定員
生活創造学科　1 年生　70名　2年生　70名　計140名
幼児教育学科　1年生　100名　2年生　100名　計200名
総計340名

(2)長崎女子高等学校　所在地:〒850-0834　長崎市上小島 1 丁目 11 番 8 号
校長:小野　良介

学　科	入学定員	収容定員	1 年生	2 年生	3 年生	在籍合計
普通科	125	375	109	134	120	363

(定員充足率:96.8%)

(3)長崎女子短期大学附属幼稚園　所在地:〒850-0823 長崎市弥生町 19 番 2 号
園長:犬塚　光男

区分	収容定数	3 歳児	4 歳児	5 歳児	在籍合計
3～5 歳児	110	32	27	26	85

3. 理事・監事＜令和5年度＞

理事・監事	氏　名	現　職　等
理事長	原田　雄司	理事長
理　事	原田　延介	相談役
理　事	玉島　健二	長崎女子短期大学学長
理　事	小野　良介	長崎女子高等学校校長
理　事	田中丸善保	株式会社佐世保玉屋　代表取締役会長
理　事	小原　四郎	新日本不動産株式会社　相談役
理　事	井口　國雄	株式会社あたご　代表取締役社長
理　事	橋本　剛	新任：副理事長
監　事	城本　隆之	医療法人清潮会　監事
監　事	平山　寿則	平山税理士事務所所長

4. 理事会の開催状況

開催年月日	主な議案	出席数
令和 5 年 5 月 25 日	①令和 4 年度予算の補正(案)について ②令和 4 年度事業報告について ③令和 4 年度決算報告について ④令和 5 年度予算の補正(案)について ⑤報告事項 ・小島奨学基金の運営状況について ・部門別現況報告について	理事　7 名 監事　2 名
令和 5 年 9 月 27 日	①幼稚園の施設型給付幼稚園への移行及び園則の改定について ②予算執行状況及び部門別現況報告	理事　6 名 監事　2 名
令和 5 年 12 月 20 日	①長崎女子短期大学の昇任人事(案)について ②長崎女子短期大学の学則変更(案)について ③長崎女子短期大学付属幼稚園の園則改定(案)について ④評議員の任期延長について ⑤学園人事(案)について ⑥報告事項 ・部門別現況報告について	理事　6 名 監事　2 名
令和 6 年 3 月 25 日	①理事長の選任について ②学園人事について ③評議員(理事会推薦の法人職員)の推薦について ④理事(評議員会選出理事)の推薦について ⑤理事(学識経験者)の選任について ⑥評議員(学識経験者)の選任について ⑦令和 5 年度予算の補正(案)について ⑧令和 6 年度事業計画(案)について ⑨令和 6 年度予算(案)について	理事　6 名 監事　2 名

	⑩短大付属幼稚園の施設型給付幼稚園移行に伴う一時預かり保育事業開始届出書の提出について ⑪教職員人事について ⑫報告事項 ・部門別現況報告について	

5. 評議員　　17 名（欠員なし）

6. 評議員会の開催状況

開催年月日	主な議案	出席数
令和 5 年 5 月 25 日	②令和 4 年度予算の補正(案)について ③令和 4 年度事業報告について ④令和 4 年度決算報告について ⑤令和 5 年度予算の補正(案)について ⑥報告事項 ・小島奨学基金の運営状況について ・部門別現況報告について	評議員 16 名 監　事　2 名
令和 5 年 9 月 27 日	①幼稚園の施設型給付幼稚園への移行及び園則の改定について ②予算執行状況及び部門別現況報告	評議員 13 名 監　事　2 名
令和 5 年 12 月 20 日	①長崎女子短期大学の昇任人事(案)について ②長崎女子短期大学の学則変更(案)について ③長崎女子短期大学付属幼稚園の園則改定（案）について ④評議員の任期延長について ⑤学園人事（案）について ⑥報告事項 ・部門別現況報告について	評議員 13 名 監　事　2 名
令和 6 年 3 月 29 日	①理事長の選任について ②学園人事について ③評議員（理事会推薦の法人職員）の推薦について ④理事（評議員会選出理事）の推薦について ⑤令和 5 年度予算の補正（案）について ⑥令和 6 年度事業計画（案）について ⑦令和 6 年度予算（案）について ⑧短大付属幼稚園の施設型給付幼稚園移行に伴う一時預かり保育事業開始届出書の提出について ⑨教職員人事について ⑩報告事項 ・部門別現況報告について	評議員 14 名 監　事　2 名

7. 学園合同会議

学園合同会議は、理事長の諮問会議であり、学内理事と監事及び各部門の幹部職員により構成され、定例的に開催されている。ここでは学園（理事会）と短大・高校・幼稚園の教学が一体となって問題意識の共有を図るとともに、日常的な学生・生徒等の動向あるいは保護者からの要望等についても情報を共有する。また、理事会提案事項等の調査研究、企画立案、調整を行うなどの機能も有している。

〇構成員

構成員	理事長、学園長、相談役、監事、短大学長、高校校長、幼稚園長、 法人本部長、法人本部次長、短大事務局長、高校事務長

〇学園合同会議開催状況

	開催年月日	主な議案・報告事項
第 1 回	令和 5 年 4 月 19 日	①部門別現況報告について
第 2 回	令和 5 年 5 月 17 日	①5 月 25 日開催の理事会・評議員会における議案及び報告事項について ②報告事項 ・令和 4 年度小島奨学基金の運営状況について ・部門別現況報告について
第 3 回	令和 5 年 6 月 21 日	①部門別現況報告について
第 4 回	令和 5 年 7 月 19 日	①令和 5 年度予算の執行状況について ②部門別現況報告について
第 5 回	令和 5 年 9 月 20 日	①9 月 27 日開催の理事会・評議員会における議案について ②短大付属幼稚園の施設型給付幼稚園への移行及び園則の改定について ③報告事項について ・令和 5 年度予算の執行状況について ・部門別現況報告について ・退学者の状況について
第 6 回	令和 5 年 10 月 18 日	①監査法人監査の講評内容について ②部門別現況報告について
第 7 回	令和 5 年 11 月 15 日	①令和 5 年度予算の執行状況について ②部門別現況報告について
第 8 回	令和 5 年 12 月 13 日	①12 月 20 日開催の理事会・評議員会における議案について ②報告事項 ・部門別現況報告について
第 9 回	令和 6 年 1 月 24 日	①令和 5 年度予算の執行状況について ②部門別現況報告について
第 10 回	令和 6 年 2 月 21 日	①部門別現況報告について

第 11 回	令和 6 年 3 月 18 日	①3 月 25 日開催の理事会・評議員会における議案について ②報告事項 ・部門別現況報告について

8. 教職員（令和 5 年.5.1 付）

		理事長・学園長 相談役	短大	高校	幼稚園	本部	合計
教員	専任		16	17	8		41
	特専・常勤		3	12			15
	非常勤		35	10	1		46
職員	専任	3	16	4	3	4	30
	非常勤		3	1	3		7
合　計		3	73	44	15	4	139

9. 建学の理念・教育目標

(1) 建学の精神

－　鶴九皐に鳴きて声天に聞こゆ　－

中国の古典「詩経」の小雅・鶴鳴篇の中の一節で、本学園の建学の精神である。鶴は、人に知られない山奥の沢辺で鳴いても、その声は遠くまで達するという意味であり、この詩句には深い人間的意味が込められている。

社会の中で人に知られなくても、地味だが現実に根ざして誠実に生き、学びつづけている人は、深い谷間で鳴く鶴の声が、やがて天の高みまで響くように、必ず人々から高く評価されるようになるということである。

本学園では、深い誠実な生き方を示す「至誠」を基本として、人間教育を大切にし、「品性」を涵養する学園を創造しつづけている。

(2)短大の教育理念・教育目標・学位授与の方針

〇教育理念

創立以来、輝く女子教育の伝統と歴史の上にたち、建学の精神に基づいて、深い学理の探求と優れた技術の練磨とによって、社会の平和と幸福の増進に寄与し、自立性をもつ現代女性の育成を使命とする。

〇教育目標(学訓):「尽心・創造・実践」

尽心・創造・実践は、建学の精神と教育理念に基づいて生まれたものである。即ち、常に至誠の心をもって事に当たり、「もの・こと」の本質を見つめつづけ、古き慣習にとらわれず、より良きもの、より高きものを創ることに努め、かつこれを単なる理念にとどめることなく実践することを意味する。

○学位授与の方針
　教育目標（学訓）と学修成果の到達目標に基づいて開講されている教育課程の科目を履修し、学則に規定する成績評価の基準で卒業に必要な単位を修得した者。これにより社会に貢献できる資質を身につけた者に、短期大学士の学位を授与する。

(3)高校の校訓・教育方針・教育目標
○校訓：「真心・創意・共生」
○教育方針
　創造的意志を大切にし、豊かな教養と人間性を育むとともに国際的視野に立ち、共に生きる思いやりの心を有する女性の育成を目指す。

○教育目標
　①生命の尊さを学び、優しい心を育てる。
　②自然と環境を愛し、人間尊重の精神を育てる。
　③清らかな心を育て、品性の向上に努める。
　④基本的生活習慣を確立させ、精勤を奨励する。
　⑤学業を大切にし、進路目標の達成に努める。
　⑥個性を伸ばし、感性豊かな表現力を育てる。
　⑦ねばり強く取り組む気力・体力を育てる。
　⑧校内の美化と地域・社会への奉仕に努める。
　⑨生徒会活動や部活動の活性化に努める。
　⑩多文化との交流を深め、国際的視野を広める。

(4)附属幼稚園の教育目標
　豊かな学園環境の中で、たくましく、やさしい、思いやりの心を大切に育てる。
　○いのちを大切にし「ありがとう」の言える子ども
　○明るく元気にあいさつのできる子ども
　○表現豊かで創るよろこびをもつ子ども
　○友だちと仲よく遊べる子ども
　○あきらめずやりぬこうとする子ども

10. 学園の沿革

年　月	事　　項
1896(明治 29)年 10 月	長崎女子学院を創立（市内出来大工町 27） 　新潟県出身の笠原田鶴子が、欧米視察のため長崎に立ち寄った折り、外国との交流のある長崎でありながら意外と女性の地位が低いことを痛感し、欧米視察を断念して、女子教育に情熱を燃やすことを決意した。 　　教師4名、生徒2名でのスタートであった。
1901(明治 34)年 4 月	伊良林町 77 番戸に移転、校名を「鶴鳴女学校」と改称 　教師 8 名、生徒 50 名 「鶴鳴」の由来は、中国の詩経「鶴九皐に鳴いて声天に聞こゆ」の句による。また創立者笠原田鶴子の名に因んだものであった。

1906(明治 39)年 3 月	原田豊一第2代校長に就任
1912(明治 45)年 4 月	「鶴鳴実科高等女学校」と改称、定員 250 名
1918(大正7)年 3 月	原田アサ第3代校長に就任
1920(大正 9)年 5 月	「鶴鳴高等女学校」に改称
1921(大正 10)年 2 月	校舎を現在地の上小島に移転
1925(大正 14)年 1 月	原田アサ校長、ロンドン留学(昭和3年帰国)
1947(昭和 22)年 4 月	鶴鳴中学校設置
1948(昭和 23)年 4 月	学制改革で「鶴鳴女子高等学校」と改称(普通科)
1951(昭和 26)年 3 月	学校法人鶴鳴学園と組織変更　原田アサ初代理事長に就任
1951(昭和 26)年 4 月	「商業科」を増設
1952(昭和 27)年 4 月	鶴鳴幼稚園が高校敷地内に開園、原田アサ初代園長に就任
1959(昭和 34)年 10 月	鶴鳴中学校廃止
1960(昭和 35)年 6 月	原田鶴代第 2 代理事長に就任
1960(昭和 35)年 12 月	原田寅次郎第4代校長に就任
1960(昭和 35)年 12 月	原田寅次郎鶴鳴幼稚園第2代園長に就任
1966(昭和 41)年 4 月	鶴鳴女子短期大学開学(家政科) 原田寅次郎初代学長に就任
1966(昭和 41)年 4 月	旭が丘鶴鳴幼稚園開園(弥生町) 原田寅次郎初代園長に就任
1966(昭和 41)年 10 月	学園創立 70 周年記念式典を挙行
1967(昭和 42)年 4 月	短大の家政科を家政専攻と食物栄養専攻に分離増設
1969(昭和 44)年 4 月	鶴鳴女子短期大学を長崎女子短期大学に改称
1970(昭和 45)年 4 月	短大の家政科家政専攻を家政専攻と被服意匠専攻に分離増設
1970(昭和 45)年 6 月	短大の学生募集低迷のため次年度の学生募集停止の決定をなす
1970(昭和 45)年 11 月	短大の学生募集再開
1970(昭和 45)年 11 月	長岡達第2代学長に就任
1970(昭和 45)年 12 月	川崎周之第5代校長に就任
1970(昭和 45)年 12 月	法人本部を設置
1971(昭和 46)年 4 月	原田慶子鶴鳴幼稚園第3代園長に就任
1971(昭和 46)年 8 月	原田延介第3代理事長に就任
1972(昭和 47)年1月	長岡達旭が丘鶴鳴幼稚園第2代園長に就任
1972(昭和 47)年1月	川崎周之鶴鳴幼稚園第4代園長に就任
1973(昭和 48)年 4 月	短大に幼児教育学科を増設
1973(昭和 48)年 4 月	原田延介鶴鳴幼稚園第5代園長、旭が丘鶴鳴幼稚園第3代園長に就任
1975(昭和 50)年 10 月	学園創立 80 周年記念式典を挙行 初代理事長原田アサ胸像建立
1977(昭和 52)年 9 月	短大体育館が完成
1978(昭和 53)年 4 月	藤田源次郎第6代校長に就任
1979(昭和 54)年 1 月	短大に新学生寮「若竹寮」完成
1979(昭和 54)年 4 月	原田延介第3代学長に就任

1979(昭和 54)年 4 月	原田慶子学園長に就任
1980(昭和 55)年 4 月	太田多美子鶴鳴幼稚園第6代園長に就任
1980(昭和 55)年 4 月	山川雅雄旭が丘鶴鳴幼稚園第4代園長に就任
1982(昭和 57)年 4 月	短大の家政学科家政専攻と被服意匠専攻を統合し生活文化専攻を新たに設置
1983(昭和 58)年 4 月	稲永侑三旭が丘鶴鳴幼稚園第5代園長に就任
1984(昭和 59)年 3 月	旭ヶ丘鶴鳴幼稚園の園舎が短大敷地内に新築移転
1984(昭和 59)年 4 月	稲永侑三鶴鳴幼稚園第7代園長に就任
1985(昭和 60)年 4 月	長谷川信第4代学長に就任
1985(昭和 60)年 4 月	長谷川信第7代校長に就任
1985(昭和 60)年 10 月	学園創立 90 周年記念式典を挙行
1988(昭和 63)年 4 月	短大家政学科を生活科学科に生活文化専攻を生活情報専攻に改組
1988(昭和 63)年 4 月	法人本部を短大内に移転
1990(平成2)年 4 月	菊谷元資第5代学長に就任
1990(平成2)年 4 月	前田英昭第8代校長に就任
1993(平成 5)年 2 月	高校の校舎・体育館の外壁全面改装工事完了

1994(平成6)年 4 月	江副功第9代校長に就任
1994(平成6)年 4 月	前田英昭鶴鳴幼稚園第8代園長、旭が丘鶴鳴幼稚園第6代園長に就任
1994(平成 6)年 10 月	短大の新校舎完成(100 周年の先駆け工事)
1995(平成 7)年 4 月	中西弘樹第6代学長に就任
1996(平成8)年 10 月	学園創立 100 周年記念式典 記念事業として高校第二体育館新築・ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ整備工事が完成
1997(平成 9)年 4 月	鶴鳴女子高等学校を長崎女子高等学校に改称 進路別コースがスタート
1997(平成 9)年 4 月	鶴鳴幼稚園を長崎女子短期大学附属第一幼稚園に、旭が丘鶴鳴幼稚園を長崎女子短期大学附属第二幼稚園に改称
1998(平成 10)年 4 月	田中正明第 10 代校長に就任
2000(平成 12)年 4 月	田中正明第7代学長に就任(校長兼務)
2000(平成 12)年 4 月	柳原邦弘長崎女子短期大学附属第一幼稚園第9代園長、第二幼稚園第7代園長に就任
2001(平成 13)年 4 月	短大の生活科学科に生活福祉専攻(介護福祉士養成)を設置
2002(平成 14)年 4 月	犬塚光男第 11 代校長に就任
2004(平成 16)年 4 月	原田延介理事長　第 12 代校長を兼務(犬塚光男副校長) 長崎女子高等学校「商業科」を廃止 長崎女子高等学校入学定員変更(500→200)
2004(平成 16)年 4 月	長崎女子短期大学附属第一幼稚園と第二幼稚園を統廃合し、長崎女子短期大学附属幼稚園に統一(第一幼稚園休園)
2005(平成 17)年 4 月	犬塚光男長崎女子短期大学附属幼稚園第 10 代園長に就任
2005(平成 17)年 9 月	短大1号館外壁全面改修工事完了

	短大校舎と学生寮食堂連絡通路工事完了
2005(平成 17)年 10 月	財団法人短期大学基準協会の第三者評価訪問調査 10 月 20 日･21 日
2006(平成 18)年 3 月	財団法人短期大学基準協会の第三者評価において「適格」認定
2006(平成 18)年 4 月	馬場正典第 13 代校長に就任
2007(平成 19)年 4 月	長崎女子高等学校入学定員変更(200 名→170 名)
2008(平成 20)年 4 月	原田雄司副理事長就任
2008(平成 20)年 4 月	江副功第8代学長に就任
2008(平成 20)年 4 月	柳川伸一第 14 代校長に就任
2009(平成 21)年 6 月	奈良県の奈良佐保短期大学と相互評価締結について調印
2010(平成 22)年 4 月	短大の生活福祉専攻を「介護福祉専攻」に名称変更
2010(平成 22)年 4 月	短大が奈良佐保短期大学と相互評価を実施
2010(平成 22)年 8 月	短大が文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業　大学教育推進プログラム」採択
2011(平成 23)年 3 月	長崎女子短期大学附属第一幼稚園廃園
2011(平成 23)年 3 月	高校第一体育館・短大学生寮の耐震化工事が完了
2011(平成 23)年 4 月	短大の生活情報専攻を「生活総合ビジネス専攻」に名称変更

2011(平成 23)年 4 月	鈴木賢二長崎女子短期大学附属幼稚園第 11 代園長に就任
2011(平成 23)年 10 月	学園創立 115 周年記念演奏会―掛屋剛志ピアノコンサート―
2012(平成 24)年 9 月	財)短期大学基準協会第三者評価評価委員 4 名が現地調査
2013(平成 25)年 3 月	(財)短期大学基準協会第三者評価 2 回目の「適格」認定
2013(平成 25)年 4 月	小野良介第 15 代校長に就任
2013(平成 25)年 8 月	高校龍踊部が全国総文祭優秀校東京公演に県代表として出場
2013(平成 25)年 9 月	短大トイレ全面改修工事完了
2014(平成 26)年 4 月	浦川末子第9代学長に就任
2014(平成 26)年 4 月	長崎女子短期大学生活科学科を生活創造学科に名称変更、併せて専攻を廃止しコース制に改組(栄養士コース定員減 80→60)
2014(平成 26)年 4 月	長崎女子高等学校の入学定員減(170→150)
2015(平成 27)年 4 月	長崎女子高等学校「普通科総合選択制」導入
2015(平成 27)年 6 月	長崎女子高等学校進入道路工事着工
2015(平成 27)年 7 月	文部科学省運営調査
2015(平成 27)年 12 月	長崎女子高等学校耐震化改築工事に伴う校舎解体工事に着手
2016(平成 28)年 4 月	玉島健二第 10 代学長に就任
2016(平成 28)年 4 月	長崎女子高等学校耐震化改築工事(第一期工事)着工
2016(平成 28)年 6 月	長崎女子高等学校進入道路工事完了
2016(平成 28)年 12 月	長崎女子高等学校耐震化改築工事(第一期工事)完了
2017(平成 29)年 11 月	長崎女子高等学校耐震補強工事(第二期工事)完了
2018(平成 30)年 3 月	短大が文部科学省「平成 29 年度私立大学等改革総合支援事業」(タイプ①・タイプ⑤)に採択される
2018(平成 30)年 3 月	長崎女子短期大学入学定員 40 名減(生活創造学科介護福祉士コ

	ース募集停止)
2019(平成 31)年 3 月	短大が文部科学省「平成 30 年度私立大学等改革総合支援事業」(タイプ①・タイプ⑤)に採択される
2019(平成 31)年 3 月	長崎女子短期大学生活創造学科「介護福祉士コース(入学定員 40 名)」の 2 年生が卒業し、同コースの廃止が完了した これにより入学定員は、生活創造学科は栄養士コース 60 名、ビジネス・医療秘書コース 40 名、幼児教育学科 100 名で、計 200 名となる
2019(平成 31)年 3 月	原田延介第 3 代理事長が辞任
2019(平成 31)年 4 月	原田雄司第4代理事長に就任
2020(令和 2) 年 3 月	(財)短期大学基準協会の認証評価において3回目の適格認定
2020(令和 2) 年 3 月	短大が文部科学省「令和元年度私立大学等改革総合支援事業」(タイプ①・タイプ③)に採択される
2020(令和 2) 年 3 月	短大と長崎明誠高等学校との「教育活動の充実・推進等に関する連携協定」が締結される。
2020(令和 2) 年 4 月	長崎女子高等学校の入学定員減(150→125)
2020(令和 2) 年 4 月	長崎女子短期大学生活創造学科の令和 3 年度入学生からの入学定員を栄養士コース(60→40)、ビジネス・医療秘書コース(40→30)と改める。
2020(令和 2) 年 11 月	短大と長崎県との「若者の県内定着促進等に係る連携協定」が締結され、「長崎県内企業・事業所魅力発見事業」に取り組む。
2021(令和 3) 年 2 月	短大と長崎県中小企業家同友会との「包括連携協定」が締結される。
2021(令和 3) 年 3 月	短大が文部科学省「令和 2 年度私立大学等改革総合支援事業」(タイプ③)に 4 年連続採択される。
2023(令和 5) 年 4 月	橋本剛理事が副理事長に就任
2024(令和 6) 年 3 月	原田雄司第4代理事長が辞任 (橋本剛副理事長が第 5 代理事長として令和6年4月1日就任)

Ⅳ. 今後の課題について

入学年齢人口が年々減少という厳しい運営を強いられる状況下で、学園の存続・発展を如何にして図っていくかが大きな課題となる。何より短期大学、高等学校、幼稚園を擁する総合学園として特徴を活かして相互の連携を一層強化し、地域社会・経済社会での存在感を高めていかなければならない。

学生・生徒数確保が厳しい中、財務面においては、学生・生徒数をどのように確保し収入を安定させるか、また収入の範囲内で経費支出をどのように配分するかの観点から収支のバランスをいかに維持していくかが重要である。

短期大学においては、次年度学生募集で幼児教育学科、生活創造学科の2コース共に前年度に引き続き入学定員を下回る厳しい状況となった。今後は、一部コースのリニューアル、地域経済社会との連携強化、グローバル化推進等を推し進めながら、本学独自のきめ細かい指導・支援体制と各学科・コースの特色ある取り組みの周知等

の情報発信を積極的に取り組んでいく。

高等学校においても、短期大学同様、生徒募集は厳しい状況が続くと想定され、今後は、教育活動全般・中学校訪問・オープンスクール等の見直しを図りながら、SNS 等を活用した広報活動を積極的に行い、市外県外からの入寮生徒の確保を中心とした入学者の確保とともに優秀な指導者の確保・育成に取り組んでいく。

幼稚園においては、短大の附属幼稚園としての特色を一層鮮明に出し、他園との違いを明確にするために、2歳児未満親子との交流の場を創設し、プレ幼稚園の2歳児クラスへの入会数増加に繋げるとともに、園児の母親向けの交流イベントを積極的に行うなど園の魅力化に取り組み、これらにかかる広報活動として SNS 等あらゆるメディアを活用した周知を積極的に行っていく。